NaRinGi News
NARA AMT
No. 308
JAN.2020

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会　〔事務局〕〒632-8552 天理市三島町 200
〔発行責任者〕勝山 政彦　〔編集責任者〕岸森 千幸　天理よろづ相談所病院　臨床検査部（TEL）0743-63-5611（7439）

新年のご挨拶

一般社団法人　奈良県臨床検査技師会 会長 勝山 政彦

新年明けましておめでとうございます！

令和最初の新年を迎えました。皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

平素は奈臨技活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

政府は、人生 100 年時代の到来を見据えて社会保障全般にわたる持続的な改革の検討を行っています。また厚生労働省は､地域医療構想の実現に向けて再検証要請対象の公立･公的病院リストを公表しました。残念ながら地域の医療提供体制をどうしていくかには結びついてない状態になっています。現在、医師等の「働き方改革」が重要課題とされており、2020 年診療報酬改定においても焦点になると考えられます。そのような中、日臨技はタスクシェアリングを事業計画の大きな柱の一つとして活動をしています。日臨技定款変更により、来年度以降、各地臨技から一名ずつ、日臨技理事を担います。 奈臨技も他の地臨技と共に、日臨技と力を合わせてタスクシェアリングに取り組むことになります。

また昨年、JSCC（日本臨床化学会）から、来年度中に AL-P と LD を JSCC 法から IFCC（国際臨床化学連合）基準測定方法へ移行するように勧告が出されました。これは国際化の流れに沿うための改革ということですが、AL-P の基準範囲が現在使用している範囲の 3 分の 1 になります。現在全国では、99%以上の施設が JSCC 法で測定を行っていますが、受診者がどこの施設で受診されても診療に支障をきたさないように標準化委員会を中心として検査方法の移行と広報を考えています。

奈良若草の会が活動を始めました。奈良若草の会は、若手育成を目的とした総合企画です。「臨床検査技師を楽しむ！ ， 横のつながりを増やす！」をコンセプトに活動を行います。 奈臨技ニュースの今月号に案内が掲載されていますが､気軽に施設間の交流や情報交換を行うことにより奈臨技の組織強化や各施設､会員の研鑽発展を目指します。

最後に、政治連盟の話になりますが、人口減少，少子高齢化の進む中、目覚ましい進歩を遂げている医療界において、タスクシェアリングを含め、職域の充実発展は重要な課題になります。「政治連盟は特定の理念や政党を支援することが目的ではなく、職域の充実発展のためにある。」と京都府向日市の安田守市長も近畿支部学会で講演されました。 職域の充実発展のためにも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

＜　生涯教育研修会のお知らせ　＞

人工ペースメーカ勉強会〔専門-20〕

講師：三浦 晃裕 氏（県立医科大学附属病院 医療技術センター）

日時：2020年1月10日（金）18時30分～20時00分

会場：県立医科大学附属病院　中央臨床検査部技局（スキルスラボ棟　4階）

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回は臨床工学技士のかたを講師に迎え、心臓植込みデバイスについて、ペースメーカを中心とした内容をお話ししていただきます。デバイス外来の流れに添いながら「各種設定」「不整脈の履歴(心内心電図)」、他に「心臓植込みデバイスのトレンド」等の普段の業務では見ない領域をテーマにお伝えくださる予定です。みなさまの御参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】白土　美佳（県立医科大学附属病院） Tel　0744-22-3051（4221）

e-mail　mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

超音波定期勉強会9「心時相・心音・心内圧を一括して理解する」〔専門-20〕

講師：高橋 秀一 会員（済生会中和病院）

日時：2020年1月29日（水）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟5階 中会議室

担当：画像検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】心機図は、誰もが敬遠しがちな学問ですが、心エコー図というアイテムを使うこと、心時相と心音、そして心内圧を推定するコツが明確に見えてきます。同時に、物理の公式はこういう意味を持っていたんだ、ということに気づくことができます。今回は、心臓疾患の病態把握への礎となる内容をお話しいただきます。是非とも多くの方のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】植東 ゆみ（天理よろづ相談所病院） Tel　0743-63-5611（7447）

e-mail　uehigashi_2017@yahoo.co.jp

令和元年度　第2回血液・輸血部門合同研修会〔専門-20〕

講師：飯岡 大 先生（天理よろづ相談所病院　血液内科）

日時：2020年2月1日（土）14時00分～16時00分

会場：天理よろづ相談所病院 南病棟棟南 別館4階 会議室

担当：輸血・移植検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】令和元年度第2回目の血液・輸血部門合同研修会を企画いたしました。今回は、天理よろづ相談所病院 血液内科 飯岡先生をお招きして、”造血幹細胞移植後に求められる臨床検査”と題し、我々臨床検査技師が知っておきたい骨髄移植の基本、移植後に見られる疾患や検査データの読み方などについて、ご講演頂く予定です。皆様の参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】大前 和人（市立奈良病院） Tel　0742-27-9502（4201）

IgG4関連疾患と血清IgG4の測定意義〔専門-20〕

講師：松木 友里 氏（ニットーボーメディカル株式会社　学術部）

日時：2020年2月7日（金）18時30分～19時45分

会場：天理よろづ相談所　外来診療棟５階　中会議室

担当：免疫検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】IgG4関連疾患は日本が世界に先駆けて発見した疾患で、その病態は未だ解明されないところが多いです。近年では国内で臨床研究チームが立ち上がり、その実態が解明されつつあります。」よって最近の動向と、血清IgG4を測定する意義について勉強会を開催いたします.

【問い合わせ先】松村 充子（天理よろづ相談所病院） Tel　0743-63-5611（7435）

e-mail　mitsuko@tenriyorozu.jp

令和元年度奈臨技グラム染色講習会〔専門-20〕

講師：阿部 教行 会員 他（天理よろづ相談所病院　他）

日時：2020年2月8日（土）14時30分～18時00分

会場：奈良県立医科大学附属病院

担当：微生物検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】奈臨技グラム染色研修会を実施いたします。

14時30分～15時受付、実習は15時～18時の予定です。

募集人数は15～20名程度で、募集期間は12月1日～1月20日です。

申し込みは下記メールアドレスまでお願いします。

申し込み時に初級・中級のどちらかを書き込みをお願いします。

本研修は日臨技助成申請事業です。沢山の方のご参加お待ちしております。

申し込みアドレス：天理よろづ相談所病院 阿部教行　abepenem@tenriyorozu.jp

【問い合わせ先】阿部 教行（天理よろづ相談所病院） Tel　0743-63-5611（8665）

e-mail　abepenem@tenriyorozu.jp

術中神経モニタリングの基礎から実践まで　～　症例から学ぶ　～〔専門-20〕

講師：高谷 恒範（県立医科大学附属病院）他　医師に講演依頼中

日時：2020年2月8日（土）13時00分～17時00分

会場：県立医科大学附属病院　中央臨床検査部技局（スキルスラボ棟　4階）

担当：神経検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回の定期勉強会は『術中神経モニタリングの基礎から実践まで』というテーマで、術後神経症状の悪化を予防する目的で、運動や感覚（視覚・聴覚・体性感覚など）といった神経機能が手術中に障害されていないかどうかを確認する検査について簡便に説明して頂きます。興味のある方お待ちしております。

【問い合わせ先】高谷 恒範（県立医科大学附属病院） Tel　0744-22-3051（4240）

e-mail　takatani@naramed-u.ac.jp

遺伝子検査の基礎と臨床応用〔専門-20〕

講師：白濱 秀也 氏（SRL　遺伝子・染色体解析部）

日時：2020年2月13日（木）18時30分～20時00分

会場：近畿大学奈良病院 ５階大会議室

担当：病理検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】近年、悪性腫瘍の病理組織や細胞検体を用いた体細胞遺伝子検査は急増しており、検体の取り扱い方法は検体の品質に深く関わることが知られております。今回は、ゲノム検査に携わる方を講師に迎え、検査前工程における検体の取扱いについての注意点や工夫、コンパニオン診断における遺伝子検査の紹介とその結果の解釈等について、ご講演を賜ります。多数の参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】浦 雅彦（近畿大学奈良病院） Tel　0743-77-0880(3056)

e-mail　masahiko-ura@med.kindai.ac.jp

呼吸機能検査　≪応用編≫〔専門-20〕

講師：溝端 亮兵 会員（県立医科大学附属病院）

日時：2020年2月20日（木）18時30分～20時00分

会場：県立医科大学附属病院　中央臨床検査部技局（スキルスラボ棟　4階）

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門－20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回は、「症例からデータを見る」をメインにお話しさせて頂きます。当院での症例を用いてVC、FVC、拡散能などの勉強を行なっていきたいと思います。この機会に症例からきちんとデータを見る事を皆で学びませんか。多数のご参加お待ちしております。

【問い合わせ先】白土　美佳（県立医科大学附属病院） Tel　0744-22-3051（4221）

e-mail　mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

遺伝子検査の展望（精度管理とがんゲノムのこれから）〔専門-20〕

講師：柿島 裕樹 氏（国立がん研究センター中央病院）
　　龍崎 大輔 氏（サーモフィッシャーダイアグノスティックス(株)）
日時：2020年2月22日（土）14時30分～17時00分
会場：県立医科大学附属病院　中央臨床検査部技局（スキルスラボ棟　4階）
担当：遺伝子検査分野（生涯教育研修：専門－20）
会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】医療法の改正やがんゲノム検査の広まりにつれて、遺伝子検査は新しい知識や今までにない精度管理法が必要となってくる時代となりました。今回は、精度管理を今後どうしていくべきか、また、がんゲノム検査は今後どういった展開となっていくか等遺伝子検査として最重要な話題について、中心的な役割を担っておられる講師の方々にお話ししていただける予定です。さまざまな分野からの御参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】山口 直子（県立医科大学附属病院） Tel　0744-22-3051（1220）
e-mail　nyama@naramed-u.ac.jp

会員・施設状況　（2019 年 12 月 1 日現在）

［正会員数］	644 名		
［新入会］	0 名	［再入会］	0 名
［変　更］	3 名	［退　会］	2 名

事例から学ぶ検査のピットフォール　～心電図検査～

県立医科大学附属病院 米田 さおり

心電図検査は、スクリーニングや術前検査として、また循環器疾患の診断に欠かすことの出来ない基本的な検査として活用されている。心電図検査の有用性を維持するためには、正しくキレイな心電図記録が必要である。正しくキレイな心電図を記録するためには、電極の付け間違いやアーチファクトの混入がない事を確認し、追加の記録（不整脈長時間検査・胸部右側誘導・高位肋間誘導など）が必要かどうかを判断しなければならない。そのためには心電図の知識を備えておく必要があり、また経験年数が浅い担当者が行っても一定以上の品質を保たなければならない。

【症例】心電図（図１、図２）

患者情報：生後 2 か月　女性　入院患者

検査項目：安静心電図

検査目的：先天性疾患

図１．病棟で記録した心電図

ポータブル心電計を用いて病室にて心電図を記録し、電極の付け間違いやアーチファクトの混入がない事を確認し、検査室へ帰室。サーバーへ記録波形を取り込み、波形を確認中に I 誘導での陰性 P 波、胸部誘導の R 波の減高に気づき、過去の心電図と電子カルテを確認したところ、右胸心であったことがわかった。再度病室に行き、胸部右誘導の追加記録を行う事となった。

＜右胸心の心電図＞

１） Ⅰ･aVL 誘導において、P 波･QRS 波･T 波が陰性

２）胸部誘導 V1～V6 にかけて類似した QRS 波で振幅が著名に減高。

３）追加誘導が必要（胸部右側誘導・逆録り記録心電図）

＜右胸心を見逃した理由＞

１）心拍数がはやく、また QRS の振幅が大きいため、波形が重なり見にくかった。

２）患者が乳児であり、機嫌が悪いなどの理由で記録が困難であった。

３）記録を急ぐあまり、注目するべき右胸心特有の所見に気づかなかった。

＜正確に心電図検査を行うための対策＞

追加誘導の有無の判断や電極の装着間違いに気付くためには、日頃から講習会に参加するなどして心電図についての知識を備えておく必要がある。しかしそれだけでは見逃してしまう可能性もあるので、心電計の機能を活用したり（感度の調節など）、検査前の電極の配置の工夫、また疑問や質問を周囲の人にすぐに聞くことができるように環境を整えるなど、人的・物理的サポートがあるとさらに見逃しを防ぐ事が可能である。熟練技師や新人技師がお互いにコミュニケーションをとり、過去の失敗例・成功例から学び対策を考え、検査室の品質（正確でキレイな心電図）を保っていく事が重要である。

図２．生波形

奈良県臨床検査技師会員の皆様

「奈良県内で就労する臨床検査技師職のキャリア・ニーズの実態調査」への
御協力のお願い

天理医療大学は、開学から 8 年目に入り、地域の皆様のご支援の下、150 余名の臨床検査技師を世に輩出することができました。今後は、基礎教育の基盤の上に、卒業後の臨床検査技師職のキャリアを支える大学としてさらに発展していきたいと考え、未だ奈良県内に臨床検査学に関連する大学院が存在しない状況の中で、本学へ大学院設置に向けての検討を始めたところです。

そこで、奈良県内で就労する臨床検査技師職の卒後教育機関としてのニーズを明らかにし、本学大学院修士課程に設置・開講すべき分野・コースを検討する際の資料とすることを目的として、皆様のご意見を調査することにいたしました。

皆様のニーズが明らかになれば、臨床検査分野の高度専門職業人育成における重要性、優先性が明らかとなり、地域医療に即した教育環境を準備することができ、将来にわたって地域の安定した人材育成に貢献できると考えております。

調査は、以下の点に配慮して行います。

1）本調査の実施は、天理医療大学研究倫理委員会の審査を受け、承認を得ております。（承認日：令和 1 年 11 月 20 日、承認番号：137）
2）調査への協力は、あなたの自由意思によります。周囲の人にあなたの回答の内容が漏れないよう、個人名が特定できない方法により回収いたします。回答をもって調査への同意とします。
3）回答によりあなたが特定されないよう、調査は無記名とし、また、あなたの推定につながる情報は調査内容に含めていません。結果を報告書等で公表する際にも施設が特定されないよう匿名化を徹底します。
4）回答への負担ができるだけ少なくなるよう、10 分程度で回答できる内容としています。

以上の本研究の趣旨をご理解いただき、調査に御協力下さいますようお願い申し上げます。

調査に協力いただけるのでしたら、令和 2 年 1 月 15 日を目処に以下の URL もしくは QR コードでアクセスいただいて御回答いただきますようお願いいたします。なお、奈臨技様よりのメール案内からすでにご回答いただいている方は今回の回答はご不要となります。

URL: https://forms.gle/gMiY3KcwT9zsy4kG9

QR コード：

令和　1 年　11 月　26 日

天理医療大学　医療学部長
内田　宏美
電話番号(代)　0743- 63- 7811
Email ： uchida.h@tenriyorozu-u.ac.jp

＊＊

令和元年度　日臨技近畿支部研修会
「臨床化学実技研修会」開催案内

＊＊

主　催：(一社)日本臨床衛生検査技師会　近畿支部
実務担当技師会：福井県臨床検査技師会

【テーマ】「酵素活性を理解する　～ALP、LD の JSCC 法から IFCC 法へ～」
【日　時】 令和 2 年 2 月 11 日（火･祝日）　9：00～　17：00
【場　所】 京都保健衛生専門学校
〒602－8155　京都市上京区千本竹屋町東入主税町 910
＊会場へは公共の乗り物をお使いください。
【定　員】 36 名
【受講料】 日臨技会員：4,000 円　　非会員：8,000 円
【日　程】
9：00　受付
9：30　開講式／オリエンテーション
9：40　講演 1 『酵素活性の基礎』（活性値計算も含む）
講師　藤本一満　先生（倉敷芸術科学大学　准教授）
10：45　実技実習　試薬調製（ALP 試薬の JSCC 処方と IFCC 処方）
12：30　ランチョンセミナー　　富士フイルム和光純薬株式会社
13：30　実技実習　検体測定（ALP 試薬の JSCC 法と IFCC 法の比較）
16：00　ディスカッション･まとめ
16：45　閉講式（修了証書授与）
【持参物】
①会員証　②白衣　③筆記用具　④タイマー　⑤計算機　⑥黒マジック
⑦可変式ピペット（0～100μL、100～1000μL）　⑧ゴム手袋
【申し込み期間】
令和 2 年 1 月 13 日（月）～1 月 31 日（金）«定員になり次第終了とさせていただきます»
【申し込み方法】
日臨技会員の方：日臨技ホームページの会員専用サイト（事前参加登録）からお申し込み下さい。
日臨技非会員の方：E-mail：ts235751@ton21.ne.jp　宛てに　①会員番号（都道府県会員）、②氏名、③カナ氏名、④性別、⑤施設名･所属、⑥電話番号、⑦メールアドレス　⑧臨床化学の経験年数を記入してお申し込み下さい。（５日以内に返信が無い場合はお手数ですが下記までお問い合わせください。）

研修会事務局

市立敦賀病院 医療技術部　検査室　　担当者：東　正浩
〒914-8502　福井県敦賀市三島町 1 丁目 6 番 60 号
TEL:0770-22-3611（内線 4240）　E-mail: ts235751@ton21.ne.jp

＊＊

令和元年度　日臨技近畿支部研修会

「臨床一般検査部門研修会」開催案内

＊＊

主　催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 近畿支部
実務担当技師会：兵庫県臨床検査技師会

【テーマ】「一歩先へ進む! 一般検査の質の向上を目指して」
【日　時】令和2年2月23日（日）9：30～17：00（受付 9:00～）
【場　所】神戸常盤大学2号館 2401室（兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2）
【定　員】80名
【受講料】6,000円（日臨技非会員 12,000円）
【日　程】

9：00　受　付
9：30　開会の挨拶
9：35　講演1『消化管疾患における便中マーカーの役割』
　　講師：栄研化学株式会社マーケティング推進室二部一課　志賀　常雄先生
10：40　講演2『寄生虫感染症を逃さない！抗体検査の現状と最新の話』
　　講師：宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野　丸山　治彦先生
12：10　ランチョンセミナー
13：10　講演3『最新の研究から見えてきた硝子円柱の真実』
　　講師：藤田医科大学医療科学部臨床検査学科　星　雅人先生
14：20　講演4『尿沈渣の質向上！　～低異型度尿路上皮癌と尿中ポドサイトについて～』
　　講師：神戸大学大学院保健学研究科　大﨑　博之先生
15：40　講演5『新たな尿検査の価値を生み出すために必要な研究手法
　　～ドライからウェット実験まで～』
　　講師：天理医療大学医療学部臨床検査学科　中村　彰宏先生
16：40　閉会式

【教科・点数】生涯教育研修課程 ：専門教科 20点
　　認定一般検査技師制度更新 ：20単位
【申し込み方法】＊ WEB（日臨技ホームページ）からの事前受付のみ
会員専用ページ ⇒ 生涯教育⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技又は支部 講習会を選択 ⇒ 事前登録
【申し込み期限】　2020年1月31日
【注意事項】1. 宿泊は各自で手配してください。
　　2. 会場には駐車場はありません。

研修会事務局

〒650-0017　神戸市中央区楠町7-5-2
神戸大学医学部附属病院検査部 大沼　健一郎
Tel：078-382-5111（内線75003）　FAX：078-382-6348
Emai：onumak@med.kobe-u.ac.jp

奈良若草の会のご案内と勉強会のご案内

【奈良若草の会とは】

奈良若草の会は、奈臨技若手会員の意思・行動力を無駄にすることなく、また意欲を潰すことなく活動することが技師会にとって重要だと考え、奈臨技の組織強化と奈臨技会員の更なる活躍を目的とし、会長直属で結成された会です。学術部門には属さず、横断的に広く会員の意見を集めます。

コンセプトは、「臨床検査技師をたのしむ！」、「横のつながりを増やす！」の２つを掲げています。気軽に参加して、活発な意見交換をしましょう！

【世話人】

代表：勝山会長（大和高田市立病院）
代表世話人：阿部教行（天理よろづ相談所病院）
世話人（順不同）
吉田恭教（済生会御所）、松村陽介（白庭病院）、森山美奈子（市立奈良病院）
馬場創汰（天理よろづ相談所病院）

【勉強会テーマ「奈良学会へ行こう！」】

日時：2020 年 3 月 14 日（土）
場所：奈良県立医科大学附属病院、技局
時間：14 時-17 時（13 時半～受付）
対象：検査技師歴 20 年未満の方

ねらい：今回の勉強会のねらいは２つあります。

1 つ目は、学会参加のハードルを下げ、自発的に学会への参加してもらうことです。今回は奈良学会への参加を目標に掲げました。学会参加へのハードルはどこにあるのかを話し合い、学会へ行きやすくなるにはどうすべきか、について考えていきます。

2 つ目は、横の繋がりを強化する事です。現在約 640 名の奈臨技会員ですが、20 代と 30 代を合わせると約 300 名の会員がおられます。しかし、自施設以外の会員の方との交流は、専門分野の勉強会以外では会う機会が少ないのではないでしょうか。若草の会の勉強会を通して奈臨技会員の輪が広がれば良いなと思います。

お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

尚、勉強会終了後に懇親会を予定しています。こちらも併せてよろしくお願いします。

お問い合わせ先
阿部教行
公益財団法人天理よろづ相談所病院 臨床検査部
E-MAIL: abepenem@tenriyorozu.jp

ALP・LD は来年度中に IFCC 法へ

皆さんご存知ですか。現在の ALP,LD の測定方法は JSCC 法ですが日本臨床化学会より来年度中に IFCC 法への切り替えが求められています。

IFCC 法に変更すると ALP は測定値がおよそ 1/3 になります。県内の混乱を最小限にするために奈臨技としてはできるだけ県内は同一時期に切り替えができないか検討を進めています。

その準備のためアンケートを実施します。施設連絡責任者の方が中心となって各施設より回答いただきたく存じます。アンケートは全 8 問、数分で解答可能です。また、個々の情報は解析者以外に公開することはありません。趣旨をご理解いただきご協力の程宜しくお願い致します。

アンケートは下記のアドレスにアクセスして下さい。**1 月末日を締切りとし集計します。**

【　リンク先アドレス　】
https://forms.gle/x1Ty6ozcoiHu2rYVA
【　QR コード　】

移行するための実務として各施設では以下の準備が必要となることが考えられます。勉強会も実施したいと考えています。アンケート回答にご協力ください。

・施設・医師への説明
・IFCC 法の試薬選定・データ検討
・基準範囲および名称の院内システムの変更
・JSCC 法（現行法）と IFCC 法の併行期間、換算値報告の検討
・切り替え時期

日本臨床化学会の HP より詳細な情報が入手可能です。

臨床検査データ標準化委員会・精度保証施設認証委員会
倉田主税
担当　お問い合わせ先　猪田猛久
メールアドレス：ida@chuwa-hp.jp

奈臨技行事予定

1月		行事（略）	担当	1月		行事（略）	担当
1	水			16	木		
2	木			17	金		
3	金			18	土		
4	土			19	日		
5	日			20	月		
6	月			21	火		
7	火			22	水		
8	水			23	木		
9	木			24	金		
10	金	人工ペースメーカ勉強会	機能検査	25	土		
11	土	第9回通常理事会		26	日		
		施設代表者・連絡責任者会議		27	月		
		ベッドサイド実践講習会1		28	火		
12	日			29	水	超音波定期勉強会9	画像検査
13	月			30	木		
14	火			31	金		
15	水						

＊ 行事参加される方は、奈臨技ホームページにて日程・会場等の変更の有無をご確認下さい＊

＊ http://naraamt.or.jp/＊

編集後記

明けましておめでとうございます。いよいよ、奈良若草の会が始動します。3月には、第1回の勉強会があります。若手会員の皆さま参加よろしくお願いいたします。その前に次回のニュースに告知がありますが、奈臨技恒例のボウリング大会があります。若手会員の皆さまの参加お待ちしています。多くの会員の皆さまで奈臨技を盛り上げましょう。　　広報委員　K